



農大だより

URL <http://www.pref.kagawa.lg.jp/nodai/>

第 21 号 香川県立農業大学校
〒766-0004
仲多度郡琴平町榎井 34-3
TEL 0877-75-1141
FAX 0877-75-3989
E-mail : nodai@pref.kagawa.lg.jp

- 専攻実習の取り組み □活躍する卒業生 □頑張る修了生 □校外講師の授業風景
- 農業経営力養成講座に参加して □同窓会だより □農大ふれあい市

専攻実習の取り組み

ニンニクを題材に

野菜園芸コース 楠 宗朗

私は専攻実習で春からニンニク、ブロッコリー、アスパラガス、カボチャ等の栽培に取り組んできました。これらの品目の中から、私の家でも栽培しているニンニクを卒業論文の題材に決めました。課題は「土入れと裂球及び病害発生の関係」です。



本県のニンニク栽培では、複数回の土入れ作業を行っていましたが、その土入れ作業の有無が裂球と病害の発生にどのような影響を及ぼすのか。これを調査するために前年の秋から試験区を設置しています。すでに六月から調査をスタートし、今は調査継続中です。調査結

果を先生方のお力も借りながら卒業論としてしつかりまとめ、今後の自分の農業に活かしていきたいと思えます。

ヒマワリの調査スタート

花き園芸コース 綾 隆一

私は校内で専攻実習を行っています。実習では、切り花や鉢花等の栽培管理作業を通して知識や技術を身に付けています。その中で、「ヒマワリの灌水打ち切り時期及び播種量の違いが切り花品質と良品割合に及ぼす影響」をテーマとして卒業論文に取り組んでいます。



従来よりも早期に水切り灌水を行ったり、多めに播種して間引きすることにより、欠株や生育遅れ株を少なくして生育を揃え、良品割合が高まるかを検討しています。今後

も先生方に指導していただきながら、調査データを取りまとめ、卒業論の完成に向けて努力してまいります。

さぬきゴールドの肥大促進

果樹園芸コース 宇野 成彦

果樹コースは、農大と農業試験場府中果樹研究所と農家に分かれて専攻実習を実施しています。卒業論文のテーマを各自が計画し、先生方から調査方法等の指導をいただきながら取り組んでいます。



私のテーマは、香川県が開発した果肉の黄色い大玉のキウイフルーツを取り上げ、「さぬきゴールドの一枝一蕾法及び植物成長調整剤による肥大促進効果」を試験しています。現在は果実の第三肥大期前に当たり、最後の劇的な肥大を迎える時期となってきました。思

感通りに肥大するのか、今年は酷暑のために不安がいっぱいです。

キウイ園の肥培管理にも責任を持って取り組んでいきます。台風等の気象災害対策として、結果枝の誘引固定も入念に行いました。しかし、電気柵は設置しているものの、鳥獣被害も心配です。早く無事に収穫期を迎え、卒業論文を完成させたいものです。専攻実習を通して、栽培管理だけでなく、外的なマイナス要因の多さに農業経営の難しさと奥深さを実感しています。ちなみに、写真のキウイ果実は小さく見えますが、柔道で鍛えた一〇〇kg級の私が持っているためで、実際の果実は大きいです。

洋風花壇の製作

造園緑化コース 平岡 優弥

私は卒業論文の一環として、校内の二号庭園内において元々あったテラスの一部を取り壊し、その上にレンガを組んで洋風花壇を作成しています。作業では、目地を正確に入れることがポイントですので、水平

器等を用いて慎重に作業を進め、遠くから見ても楽しめるよう、高さのあるデザインの花壇にしています。



専攻実習は卒業も含めて自ら計画し、先生方にアドバイスをいただきながら自らの手で作品を製作するので、知識や技能を鍛える良い経験になっています。また、同じ専攻コースの学生間で協力し、互いに意見や指示を出し合って作業するので、現場を広い視野で見る能力が少しは身についたように感じています。この経験を将来に活かせたら良いなと思います。

畜産試験場での取り組み

畜産コース 中村 健斗

私は石田高校在学中から豚に興味があり、現在、畜産試験場の養豚部門に専攻実習で

お世話になってます。内容は豚の飼育管理で、哺育、育成、飼育、繁殖などを全般的に実習しています。特に養豚経営の基本は、外部から病原菌を持ち込まないなど、病気の発生予防のために日頃の衛生管理が重要です。そのため私は、豚舎の消毒を毎日実施しています。

専攻実習もあと半年になりましたが、今後は卒業論文に向けて繁殖豚のトマト給与試験をしていく予定です。将来はこれらの経験を活かして、養豚に係る仕事に就きたいと考えています。



活躍する卒業生

松家 輝さん(さめき市)

松家さんは、平成二五年度に花きコースを卒業して、カ

ーネーションの栽培や種苗生産で世界を相手にしている高松市塩江町の農事組合法人香花園に就職しました。



花には非常に興味があり、入学当初は花屋への就職を希望していましたが、在学中に仲間とともに種々作物を育てる中、特に切り花栽培に魅力を感じるようになりました。その時、タミング良く、香花園との出会いがあり、カーネーションへのチャレンジを決意したそうです。

香花園では主に、種苗生産部門の業務に携わっており、指示された業務に対して自分なりの計画を立て、他のスタッフやパートさんと協力して作業を進めています。正確かつ効率的に作業するのは難しい反面、やりがいを感じておもしろいとのこと、大変前

向きに取り組んでいいることが
感じ取れました。

在学生の皆さんへ、「仲間と
楽しみ、自分の好きなことを
早く見つけて目標に向かって
頑張ってください。」と、アド
バイスをいただきました。

頑張る修了生

村岡 功雄さん（綾川町）

私は平成二七年度の一年
間、就農実践研修生として農
業大学校で果樹の基礎を学
び、就農しました。農業を目指
すきっかけになったのは、自宅
でカキの農作業を手伝ってい
た際に農業に魅力を感じたこ
とです。

現在
の経営
概要は、
カキは
七〇 a
で早秋
と富有
柿を各
三五 a、
ブドウはトンネル栽培のピオ
ーネで五 a を栽培していま
す。ほぼすべてが借地です。



昨年は、家庭の事情で作業
が十分にできなかったことや
カラスの被害でカキが概ね全
滅してしまったことが悔やま
れます。しかし、今年には順調
に農作業が進んでいるので、
収穫が楽しみです。

経営はまだまだ厳しい状況
ですが、今後は農地を確保し、
ピオーネやシャインマスカッ
ト等のブドウを主体にして経
営を発展させたいと考えてい
ます。

校外講師の授業風景

元高校教諭 高岡 令子 先生

若者と過ごす時間の大切さ

月日が経つのがこれほど早
いものかと思えます。農業大
学校で体育を教えるようにな
って六年になります。県立高
校を退職して次のステージを
歩き出した場所でした。温か
く受け入れてくれた農大と学
生さんに感謝です。

農業を学ぶ学生は、命ある
ものを大切にすることを基本
に学ぶ人達です。植物や動物
を育てる大変さも知っていま

す。自ら動くことを苦にしな
い人達です。ゆえに、体育の
授業も積極的に参加し、熱心
に取り組みます。一生懸命に
身体を動かす姿に清々しさを
感じました。



私自身は、他の活動場所が
高齢者や同世代の方とのボラ
ンティアなので、唯一、農大
の学生と過ごす時間に刺激を
貰い、パワーを貰えます。何
時の時代も世代間を飛び越え
た交流こそが社会を明るく、皆
を元気にできると思えます。

①東京セミナー

野菜園芸コース 原 崇将

七月三一日から三日間、農
業経営者に求められる経営力
や社会力等について学ぶた
め、東京で開催された農業経
営力養成講座に楠宗朗さん、
孝壽翔さんと一緒に参加しま
した。この講座には、全国の農
業大学校などから総勢約七〇
名が参加しており、その約半数
は私達と同世代の若者でした。

講座
では、

- ①女性
農家の
先駆け
である
山口農
園の山
口由美
さんや
急成長
してい
る八百
屋「旬
八青果
店」で
知られ
る（株
）アグリ



農業経営力講座に参加して

ゲートの左今克憲さんなどの講演、②グループワークで経営戦略を議論、③セルフワークでSWOT分析を用いて各自の就農に向けた農業経営計画を作成して発表を行いました。また、初日の夜に全員参加で開催された親睦会では講師や様々な世代の方々との交流ができ、連絡先を交換するなども、とても良い刺激を受けました。

内容の濃い三日間で、全国の仲間と横のつながりができて良かったです。

② 四国セミナー

野菜園芸コース 高木 優作

愛媛県で開催された四国四県のセミナーに、一年生六名で参加しました。大学の先生や私たちの先を行く若手農業者の方々のお話を聴講したり、全く知らない他校の農大生と共同生活やグループワークを行い、充実した二泊三日でした。

講師の方から様々なことを学びましたが、全員が共通していたことは、「人と人とのつながりを大事にする。」ということでした。このセミナーで

出会った他校の農大生や講師の方とのつながりを大切にしたいと思います。

また、講師の方の体験を通して未来への希望を感じるとともに問題も考えることができま



同窓会だより

株式会社中田養蜂代表取締役

中田 茂富さん（高松市）

私は、昭和五〇年三月に農

業短期大学校を卒業しました。卒業後は親元に就農し、果樹（カンキツ）と養蜂を家族経営で行っていました。当時はカンキツの価格は低迷しており、養蜂も価格の安い外国産の蜂蜜に消費者のニーズが移って国産蜂蜜の需要が低迷するという厳しい状況でした。



このことから、三〇歳位で経営の主体になったのを機に、イチゴ等の花粉交配用ミツバチに力を入れ、さらに蜂蜜の直営店を設けてロコミによる経営展開を図ってきました。幸いにも、地元で栽培されているビワの花から採った枇杷蜂蜜は高い評価をいただき、マスコミにも取り上げられ、県内外に販路が広がって現在に至っております。

在学生の皆さんも、これから困った場面に出会うと思います。それを乗り越えるために自分の殻を固定せず、幅広い知識や経験、友人関係を得

農大ふれあい市

本校の学生自治会が主催する恒例の「第二一回農大ふれあい市」を次のとおり開催します。

本年も学生が趣向を凝らした企画を用意しておりますので、皆様お誘いあわせの上、ぜひお越しください。

・開催日時

十一月十一日（土）

午前十時三〇分～午後二時

・内容（予定）

- 野菜、果物等の販売
- 苗物、鉢物、堆肥等販売
- 模擬店（焼そば、菓子など）
- ・オープンキャンパス

来年度、入学を希望される方や保護者の方で校内見学を希望される方は事前ご連絡の上、受付までお越しください。

・お願い

駐車場は榎井小学校運動場も利用できますが、数に限りがございます。できる限り公共交通機関をご利用ください。